



## かいすい の 海水を飲むと、のどがかわくのはなぜ

### みず ふそく 水が不足しているという信号

にんげん たいじゅう 人間の体重のおよそ60パーセントはみず 水です。にんげん い 人間が生きていくためには、みず 水はなくてはならないものなのです。そのため、にんげん からだ 人間の体には、みず ふそく 水が不足すると、のどがかわいたことを からだ かん 体を感じさせて、みず の 水を飲むようにさせるしくみがあるのです。

ですから、かいすい の 海水を飲んでのどがかわくのは、しお うえ からだ 塩からい上に、にんげん い 人間が生きていく上で ひつよう みず 必要な水が、ふそく 不足しているというしんごう 信号を、だ 出しているためなのです。

### かん のう なか だいのうひしつ 感じるのは脳の中の大脳皮質

からいもの た 食べたり、なつ あつ 夏の暑いときに、た くさんのみず あせ 水が汗となってで 出ていくと、からだ ひじょう 体は非常にみず 水をほしがり、そのとき「のどがかわいた」と、からだ じしん かん 体自身が感じ、みず ようきゅう 水を要求します。

からだ なか 体の中で、そのようなはたらきをするのは、のう なか だいのうひしつ 脳の中の大脳皮質とよばれるところです。だいのうひしつ 大脳皮質は、「のどがかわいた」だけでなく、「おなかがすいた」や「ねむい」などについても、かん 感じるはたらきをしているといわれています。(監修・保志 宏)

### 人間の体の成分

